



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 日本システムバンク株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5530 URL https://www.syb.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 信嘉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安嶋 一 TEL 0776-30-1800
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	4,988	—	331	—	323	—	197	—
2022年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 199百万円 (ー%) 2022年6月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	189.51	—
2022年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2022年6月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年6月期第3四半期の数値及び2023年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。
3. 当社は、2022年11月18日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	6,499	1,802	27.7
2022年6月期	6,933	1,655	23.9

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 1,802百万円 2022年6月期 1,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	500.00	—	2,600.00	3,100.00
2023年6月期	—	24.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	29.00	53.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2022年11月18日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2022年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,756	△0.3	383	8.2	364	7.2	215	20.3	202.60

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2023年6月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、2023年4月13日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行100,000株を含めた期中平均発行済株式数により算定しております。
 3. 当社は、2022年11月18日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	1,045,144株	2022年6月期	1,045,144株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	1,408株	2022年6月期	1,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	1,043,736株	2022年6月期3Q	一株

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2022年11月18日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
 3. 2022年6月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和される中、感染拡大防止をはかりながら社会活動が進められ、緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方、資源・エネルギー価格の高騰や為替変動など、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、夏季及び冬季に新型コロナウイルスの新規感染者数の拡大が一時的に見られたものの、経済の穏やかな持ち直しや冬季の降雪の少なさ等の影響により、全体として駐車場の稼働率は順調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、収益の安定化と売上の拡大を目標に、新規投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,988,747千円、営業利益は331,589千円、経常利益は323,090千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は197,794千円となりました。

報告セグメント毎の経営成績を示すと、次のとおりであります。

① コインパーキング事業

当社グループのコインパーキング事業は、主に、コインパーキングの運営ビジネスと駐車場機器の販売・保守ビジネスで構成されています。前者では、土地所有者から当社グループが土地を賃借し、当社グループ直営の駐車場・駐輪場として運営し、後者では、当社グループが駐車場運営事業者に駐車場機器を販売し、当社グループが駐車場システムの保守業務を受託しております。当第3四半期連結累計期間における直営及び管理受託している駐車場・駐輪場数及び車室数は以下のとおりであります。

(直営及び管理受託の運営駐車場・駐輪場数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (件)	1,147	84	39	1,192	45
管理受託駐車場・駐輪場 (件)	6,118	259	240	6,137	19

(車室数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (車室)	22,520	1,264	944	22,840	320
管理受託駐車場・駐輪場 (車室)	107,243	5,966	3,226	109,983	2,740

コインパーキング運営事業におきましては、収益の安定化を目的として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい郊外の住宅地に重点的に開設を進めました。

駐車場機器の販売・保守事業におきましては、駐車場検索・利用料金決済が出来るスマートフォンアプリ「SmooPA」の販促キャンペーンを実施し新規顧客の獲得に努めたものの、得意先の新規駐車場開設が低調に推移しました。

その結果、売上高は4,894,180千円、セグメント利益は673,737千円となりました。

② プロパティマネジメント事業

当第3四半期連結累計期間においては、コストの見直し及び不要不急の投資を控え、利益の確保に努めました。その結果、売上高は91,246千円、セグメント利益は5,118千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,847,612千円と前連結会計年度末と比べ508,907千円(21.6%)の減少となりました。その主な要因は、売掛金の減少27,479千円、現金及び預金の減少557,064千円、及び仕掛品の増加79,857千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、4,652,309千円と前連結会計年度末と比べ75,567千円(1.7%)の増加となりました。その要因は、有形固定資産の増加83,317千円、無形固定資産の減少9,342千円、及

び投資その他の資産の増加1,593千円であります。

有形固定資産につきましては、コインパーキング用地取得による土地の増加24,091千円、機械装置及び運搬具の増加96,558千円、福井県福井市に所在する賃貸用建物を売却したこと等による建物及び構築物の減少20,485千円、及び固定資産の減価償却が進んだことが主な要因であります。

無形固定資産につきましては、減価償却が進んだことが主な要因であります。

投資その他の資産につきましては、投資有価証券の増加2,257千円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,985,505千円と前連結会計年度末と比べ102,576千円(4.9%)の減少となりました。その主な要因は、その他に含まれる未払消費税等の減少126,933千円、1年内返済予定の長期借入金の増加85,091千円、及び未払法人税等の減少29,859千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,711,958千円と前連結会計年度末と比べ478,040千円(15.0%)の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少471,258千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,802,456千円と前連結会計年度末と比べ147,277千円(8.9%)の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加145,608千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2023年6月期の連結業績予想」に記載のとおりであります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,618,806	1,061,742
売掛金	345,597	318,117
リース債権	35,071	20,659
仕掛品	18,414	98,271
貯蔵品	73,083	87,869
前払費用	245,892	242,148
その他	19,653	18,802
流動資産合計	2,356,520	1,847,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	858,607	838,122
機械装置及び運搬具（純額）	197,024	293,583
土地	2,976,167	3,000,259
リース資産（純額）	46,563	27,467
その他（純額）	94,502	96,750
有形固定資産合計	4,172,866	4,256,183
無形固定資産		
のれん	11,524	8,270
その他	69,799	63,711
無形固定資産合計	81,324	71,981
投資その他の資産		
投資有価証券	80,668	82,925
敷金及び保証金	132,806	133,355
繰延税金資産	53,516	55,435
その他	55,559	52,428
投資その他の資産合計	322,551	324,144
固定資産合計	4,576,741	4,652,309
資産合計	6,933,261	6,499,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	425,104	420,109
1年内返済予定の長期借入金	749,827	834,918
リース債務	65,075	48,168
未払費用	65,237	61,004
未払法人税等	89,139	59,279
契約負債	75,391	59,836
預り金	352,011	378,652
賞与引当金	48,737	31,444
その他	217,559	92,091
流動負債合計	2,088,082	1,985,505
固定負債		
長期借入金	2,568,032	2,096,774
リース債務	74,142	40,599
資産除去債務	449,958	477,809
長期預り敷金保証金	87,147	86,749
その他	10,718	10,026
固定負債合計	3,189,999	2,711,958
負債合計	5,278,081	4,697,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,150	497,150
資本剰余金	561,317	561,317
利益剰余金	598,966	744,574
自己株式	△1,641	△1,641
株主資本合計	1,655,792	1,801,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△612	1,056
その他の包括利益累計額合計	△612	1,056
純資産合計	1,655,179	1,802,456
負債純資産合計	6,933,261	6,499,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,988,747
売上原価	3,563,780
売上総利益	1,424,967
販売費及び一般管理費	1,093,377
営業利益	331,589
営業外収益	
受取利息	15
受取配当金	1,919
違約金収入	2,464
受取保険金	2,804
その他	6,018
営業外収益合計	13,222
営業外費用	
支払利息	18,590
減価償却費	3,131
営業外費用合計	21,722
経常利益	323,090
特別利益	
固定資産売却益	1,271
特別利益合計	1,271
特別損失	
固定資産除却損	6,458
特別損失合計	6,458
税金等調整前四半期純利益	317,903
法人税等	120,108
四半期純利益	197,794
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	197,794
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,669
その他の包括利益合計	1,669
四半期包括利益	199,464
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	199,464

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コイン パーキング 事業	プロパティ マネジメント 事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	2,777,941	493	2,778,435	3,320	2,781,756	—	2,781,756
一定期間にわたり移転され る財又はサービス	2,025,670	—	2,025,670	—	2,025,670	—	2,025,670
顧客との契約から生じる収 益	4,803,612	493	4,804,106	3,320	4,807,426	—	4,807,426
その他の収益 (注) 4	90,568	90,752	181,321	—	181,321	—	181,321
外部顧客への売上高	4,894,180	91,246	4,985,427	3,320	4,988,747	—	4,988,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	198	198	—	198	△198	—
計	4,894,180	91,444	4,985,625	3,320	4,988,945	△198	4,988,747
セグメント利益又は損失 (△)	673,737	5,118	678,856	△30,719	648,136	△316,547	331,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,547千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,347千円、その他の調整額1,800千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2023年4月14日に名古屋証券取引所メイン市場に株式を上場いたしました。株式の上場にあたり、2023年3月10日開催の取締役会において公募による新株式の発行を決議し、2023年4月13日にその払込が完了しております。

公募による新株式の発行概要

1. 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
2. 募集株式の種類及び数	当社普通株式 100,000株
3. 発行価格	1株につき 1,880円
4. 引受価額	1株につき 1,729.6円
5. 資本組入額	1株につき 864.8円
6. 発行価格の総額	188,000千円
7. 引受価額の総額	172,960千円
8. 資本組入額の総額	86,480千円
9. 払込期日	2023年4月13日
10. 資金の使途	新設及び既設の直営駐車場のフラップレス化のための設備資金に充当する予定であります。